



第2巻
第14号

平成24年7月13日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県草津町の本白根山

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告①②③
3. 事務所・現地感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

7月、8月についてもまだまだ空いております。

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1～2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

次回は7月21日（土）18:00～協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、**7月18日（水）までに**災害対策本部まで、電話やメールでお寄せ下さい。

書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID=45



Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

-Facebook URL-

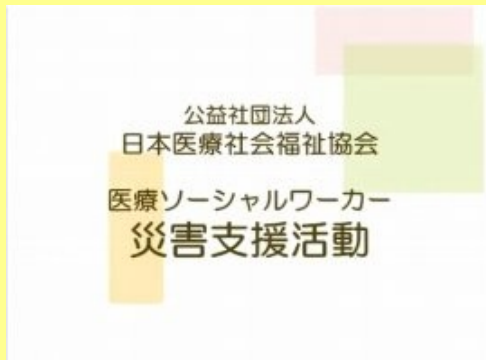
<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

YouTube に動画をアップしました！

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめ下さいました。

You Tube にアップしましたので、是非ご覧ください。

「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



- YouTube URL- <http://www.youtube.com/watch?v=vn3419h5rJ4&feature=youtu.be>

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

現地支援活動報告①

大藤 美由紀（神奈川県 厚木佐藤病院）

期間：6月21日～6月23日

初参加でした。実際に活動を行うまでは、何をすれば良いのか？どんな場所なのか？私に何が出来るのか？様々な不安がグルグルと頭の中を駆けめぐっていました。

実際に業務に入ると、今まで多くのソーシャルワーカーたちが繋いできた支援のバトンを見ることが出来ました。短い滞在期間ですので関われるケースとしては限界もありますが、その中で支援が滞っている方や、ハイリスクの対象者を分かる範囲でピックアップし、積極的に支援することを心がけました。

電話をかけると、ほとんどの方は気さくに話しに応じてくれますし、聞いてもないようなことまでどんどん話してくれます。関東圏で働く私にとってはとても刺激的でした。東北人の暖かさに触れることが出来たような気がしました。

電話でなかなか話しの出来ない家庭への訪問も積極的に行い、元気に暮らしていることが確認できたときにはとても嬉しかったです。通院ができないで悩んでいる方への受診を勧める動機付けをしたりもしました。事務所内では様々な職種が一緒に働いていますので、ケースで困った場合などは、お互いの専門分野に知恵を借りに行ったりと事務所内でも勉強になることが沢山ありました。

断片的にしか関われないため、その後の経過や結果を追えないもどかしさはありませんが、支援のバトンを繋げていく事により終結するソーシャルワークもあると思います。今までに経験したことの無いことでしたので戸惑いもありますが、これはこれで「アリ」だと思いました。

被災地の復興にはまだまだ時間がかかると思いますが、率直に1年と少しでここまで復興できているんだなあと感じたのが本音です。

現地支援活動報告②

藤田 寛（神奈川県 横浜労災病院）

期間：6月21日～6月23日

昨年5月に「遊楽館」での活動に参加して以来の石巻でしたが、1年以上経過しても被災した当時のまま残っている施設（学校や病院、市営の住宅等）がまだまだ沢山残っているんだと思ったことが率直な感想です。その反面、街の中から瓦礫がなくなり、悪臭もなくなり、交通整理をしていた警察官の姿もなくなり、石巻市外、宮城県外から支援に入っているマンパワーも心なしか少なくなっているのかもしれないと思いました。

現在日本協会では、在宅被災者への支援活動を他団体と共に続けていますが、今回電話がけや訪問を通して感じたのは、石巻の地元産業の喪失の深刻さです。電話でも漁師さんや水産加工業に長年携わってきた方たちの再就業先がないというお話がありました。9月に失業給付が切れた後の収入確保のめどが立っていない方もかなりいるのではないかと感じました。在宅被災者への電話フォローの中で、明らかに治療すべき自覚症状があるにも関わらず、経済的事情から受診を差し控えているような方もいらっしゃいました。被災した水産加工工場を手直しして再スタートしたという方は、再建のための新たな負債を抱え、被災前のような収入は確保できていないが、それでもこの仕事で頑張っていくしかないとおっしゃっていたのが印象的でした。

日本協会の現地事務所では、武山さんを始め、中辻さん、依光さんが、石巻での関係性をきちんと保っていただいているので、単発で参加するSWも安心して活動ができることも実感できました。ありがとうございます。

現地支援活動報告③

花田 佳子（神奈川県）

期間：7月3日～7月5日

今回初めて活動に参加させていただきました。

沿岸部や河川沿いの地域では信じ難い高さにも津波の爪痕が残っており、改めて被害の大きさを知ることができました。

在宅訪問では、リフォームが終了し住環境は整備されたものの、震災前のコミュニティーがなくなった地域で不安を抱えながら単身生活を継続しているご高齢の方、働きたいが仕事が見つからず年金で何とか暮らしているご家族の声をお聞きしました。仮設住宅支援では新たな自治活動を立ち上げるために住民の方々の自主性をどのように引き出すか等、支援の視点についてご説明いただきました。震災から1年4ヶ月が経過しましたが、生活を再構築するための支援は今後も多面的に長期にわたり必要なのであらうと感じました。

最後になりますが、3日間の参加だったにも関わらず、支援内容や復興支援に関する制度、地域の状況などを熱心にご指導下さった現地担当者の皆様、本当にありがとうございました。現地担当者の皆様のバックアップにより、住民や支援者の方々から被災地の現状や必要な支援について直接お話しを伺うことができたため、とても貴重な体験となりましたので、協力員としての参加をお勧めします。



群馬県草津町の本白根山に生える高山植物の女王「コマクサ」

現地感想文

7月2日(月)

今日は2人の協力員に3人の現地女子。5人で夜は女子会の鍋パーティーでした。茨城からいらした方の被災体験5か月の赤ちゃんを抱えての断水停電4日間、放射能の心配、その後の食材の心配と、隣接地域の問題をいっぱいお聞きしました。

そして、今日のお仕事は子ども支援の情報提供。石巻市の状況を収集して頂きました。明日朝のミニレクチャーは、この子育て支援の話題にします。

7月3日(火)

今日は、会議の1日でした。合間に精力的に訪問、電話と全員がよく働きました！SWは、着任したその日から相談・支援の仕事ができる本当に力持ちの集団です。この柔軟性、適応能力はやはり、災害向きかも…と、DMAT ロジスティック研修対象をMSWに！と、声を上げたい思いにかられます。

今日は、東京湾で「震度4」とか！一瞬ゾクッとしました。大分県では大雨と。心配事が続きます。

7月4日(水)

暑くなりました！強い陽射しにめげず、午前・午後と協力員さんとの息もびったりで2チームが、訪問に、支援に飛び回っています。もうじき始まるたくさんの調査フォローに向けて、準備やクラウド操作研修を進めています。1期より世帯・個人・K6(心の指数調査)と、協働や、単発完了部門の記載と複雑になっています。訪問準備やフォロー漏れをチェックする役割も必要になり、事務能力にたけた職員の出番です。この調査とフォローが明日の石巻の医療・福祉システムに大きく貢献することをめざします。

7月5日(木)

朝から雷様の大暴れ、昼は小康状態で、夜もまた暴れています。日中、穏やかだったので、北上まで訪問組が車を飛ばしました。北上川が濁流になって流域を飲み込んだ地域です。

NHK 震災特集10万人の失業者、石巻からの報告(オンデマンドで観られます)を仮設サロン支援協議会で観ての討議。求職中の相談も多いが、求人も少なくはないこと。加工業は人手不足と。アセス調査フォローと同じ問題が参加者の報告からも聞かれました。失業中の方の扱いなど、NHKには真実の報道をして欲しいと、協議会から連絡予定です。

7月6日(金)

九州では大雨の被害が…心配しています。石巻も、毎日のように小さな地震があつて、落ち着かない毎日です。

今日は訪問の後に、近くの神社で焼きそばのお昼。ついで夏越祈願で茅ノ輪くぐりを教わって八の字に抜け神殿で二拝。健康と復興を願いました。庭園には美しい花菖蒲、あやめが咲き乱れていました。神様のご褒美でした。午後は仕事に没頭！暑さが、今まで涼しかった石巻にもじわじわ迫ってきています。

7月8日(日)

静かな土・日でした。第2期調査で住民の傾向が、1期とは大分違ってきているようです。ほとんどのかたにあった不眠の自覚症状が、1491件の調査で6.8%です。地域的な偏り(被災状況)にも依るかもしれないのでまだ不確定な数字ではありますが、借り上げ仮設の方もいるので、やはり少し落ち着いてきた現われでしょうか。

用事があって、釣具屋さんに行きました。結構賑わっています。竿を買ってニコニコしているおじさんがいる一方、海の方には行きたくないという方や、浜沿いの加工工場への再就職はしたくないという方もいます。水産加工は、今人手不足で時給倍近いとか！就職先がないという声やNHKの震災失業というドキュメントもあります。

事務所感想文

7月4日（水）

尾方（西群馬病院）

現地支援協力員に全国から応募して頂いており、この協会の大きさを改めて感じます。一番大変な時期に頑張っていた一原さん、大変お疲れ様でした。今後のご活躍を祈念しております。

7月6日（金）

富永（大倉山記念病院）

2週間前に来たのが、ずいぶん前のように状況が変わってきていますね。冊子の送付もマスターしたので、来月も頑張りたいと思います！！



群馬県草津町の白根山湯釜